

# Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/09/15

## Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.60	-0.05
JPY/THB	0.2556	0.0021
USD/JPY	143.08	-1.50
EUR/THB	36.53	-0.01
EUR/USD	0.9981	0.0011
USD/CNH	6.973	-0.010
SGD/THB	26.03	-0.03
AUD/THB	24.70	0.03
USD/INR	79.44	0.29
USD Index	109.66	-0.16

## Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.208	0.030
10Y (THB)	2.820	0.040
5Y (USD)	3.604	0.025
10Y (USD)	3.404	-0.004

## Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,698.2	-8.9
WTI (Oil)	88.48	1.17
Copper	7,803.0	-65.5

## Stock

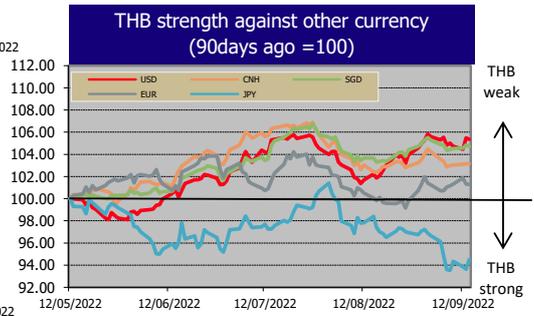
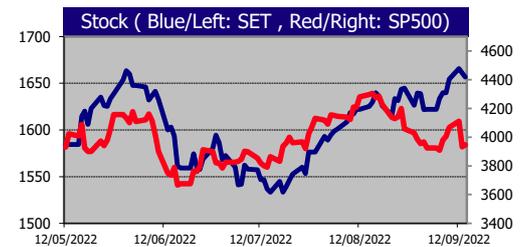
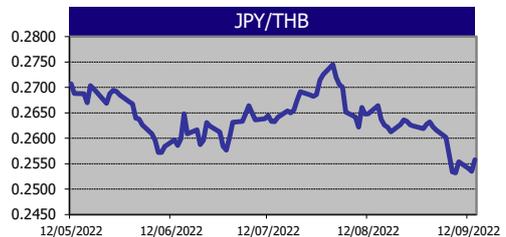
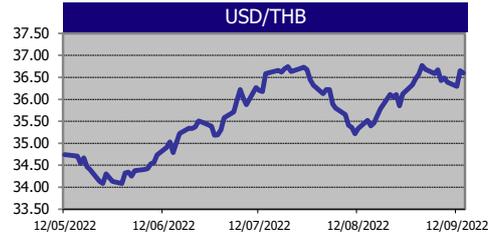
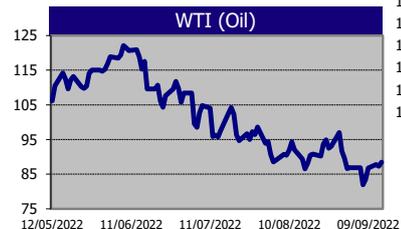
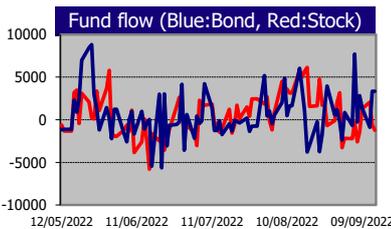
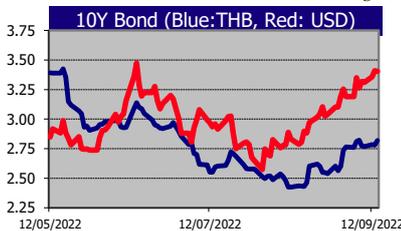
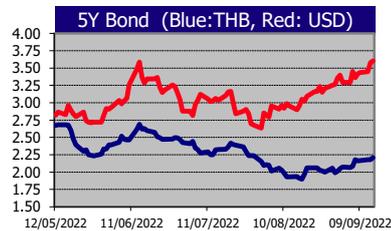
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,656.58	-4.51
NIKKEI (JP)	27,818.62	-796.01
DOW (US)	31,135.09	30.12
S&P500 (US)	3,946.01	13.32
SHCOMP (CN)	3,237.54	-26.26
DAX(GER)	13,028.00	-160.95

## Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,224)	-656.7
Bond net flow	3,348	0.0

\*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



## Yesterday's market summary

### ●ドルパーツ

・昨日のドル/パーツは狭いレンジでの推移に留まった。序盤、一時は36パーツ台後半を付けるも、前日の米8月CPIを受けたドル買の流れが一服する中、同水準では伸び悩む展開に。ただし、36パーツ台半ば付近では相應の底堅さも見られ、36パーツ台半ばから後半での狭いレンジでの推移に終始し、結局、スタートとほぼ同水準である36.60レベルで引けた。なお、現在職務停止中であるブラユット首相の任期を巡る判断について、タイ憲法裁判所は今日30日に結果を言い渡すことを明らかとしたものの、相場への影響は今のところ見られていない。

### ●ドル円その他

・昨日のドル/円は下落した。144円台半ばでスタートしたドル/円は序盤、前日の流れを引継ぎ、一時は年初来高値に迫る勢いで上昇を見せたものの、日本の政府高官による口先介入が相次いだことに加え、日銀がレートチェックを行ったとの報道も見られたことから、143円台後半まで下落する展開に。海外時間に入っても流れは変わらず、一時142円台半ばを付ける場面も見られたが、終盤にかけては勢いが一服する中で143円台前半まで値を戻し、143.08レベルでクロズとなった。

## Bangkok Dealer's Eye

注目された米8月CPIは予想を上回る強さとなりました。特に変動の大きい食料品とエネルギーを除いたコアCPIの伸びが加速しており、先月ジャクソンホール会議以降相次いでいるFED高官タカ派発言と合わせて考えると、9月FOMC会合(9/21結果発表)における75bp利上げは規定路線になったと言え、一部では100bpの利上げを予想する声も出てきている状況です。また今次利上げ局面の到達点であるターミナル金利についても、2023年中に4.3%近辺に到達することが織り込まれています。景気に中立的な水準については諸説ありますが、さすがに4%を超える金利水準は景気を引き締めると考えられることから、株式市場のセンチメントは大きく悪化しています。米金利上昇によるUSD買い、リスクオフに伴う新興国通貨売りが連想されることから、ドルタイパーツは上昇しやすい地合いを予想します。(池澤)